

自己評価等結果報告書

令和 4 年 3 月 18 日

宮 崎 市 長 殿

届出者所在地 宮崎市神宮東2丁目6-1

事業者名 株式会社 アライヴ

代表者名 千葉 利広

1. 事業所の状況

事業所の名称	ふあいん神宮		
事業所の所在地	宮崎市神宮東2丁目6-1		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4550100574		
連絡先	TEL	0985-71-2901	E-mail fine712901@gem.bbiq.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 4 年 2 月 20 日	～	令和 4 年 3 月 10 日
② 職員による評価	令和 4 年 2 月 20 日	～	令和 4 年 3 月 5 日
③ 事業所全体による評価	令和 4 年 3 月 10 日	～	令和 4 年 3 月 15 日

3. 公表方法

公表日	令和 4 年 3 月 25 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: https://fine-miyazaki.com) <input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示のうえ、保護者へ配布 <input type="checkbox"/> その他 ()
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	千葉 利広
連絡先	0985-71-2901

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 28日

事業所名 ふあいん神宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		活動によって部屋を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	7		職員の増員を行いました。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	見守りの強化を行っている	建物の構造所、バリアフリー化が難しい。出来ることから行っている。(手摺の増設)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	朝礼、終礼でのミーティングを行い振り返りを行っている。	目標設定を行い、目標の振り返りを行いたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者様の意見を聞いて業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページで公開している。	事業所の会報を増やしていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		第三者委員会を立ち上げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	定期的に外部研修の参加している。	事業所内部内の研修を充実していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者を中心として見直しをしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5	児童発達支援管理責任者を中心に児童に合ったニーズを分析し計画作成につなげている。	アセスメントツールの提示、再確認する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	職員間で話し合っ、適切な活動プログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		児童発達支援管理責任者を中心として職員の意見を聞きながら行っている。	支援課題、目標設定の再確認
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	平日に出来ないことを休日や長期休暇で取り入れている	個別支援の充実を行いたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別活動、集団活動を組み合わせ、計画の作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	朝礼で、ミーティングを行い確認している	支援内容の充実性を高めていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	終礼で振り返り、報告、連絡、相談を行っている。	支援内容の振り返りの充実していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日、提供記録に記入している。	支援の検証・改善の徹底をしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングの確認して実地している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	様々な活動プログラムを取り入れて、支援している。	ガイドラインの提示、再確認する	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		担当者を決めて、学校との情報交換を密に行っている。	報告、連絡の徹底をしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5	相談事業所と連携している。	現時点での受け入れがない。今後、受け入れがあれば、準備や体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5	相談事業所と相談している。	保育所等訪問を活用していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6	支援内容等の情報提供をしている。	職員全員に提示していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	積極的な参加を促している。	研修参加を積極的に行いたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	児童館での交流情報を検索している。	コロナ感染対策まは、餅つき大会など参加していた。今後も時期が来れば参加していく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6	地域自立支援協議会を検索しています	参加できることが少ない。積極的に行動していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	2	連絡帳や送迎時に子供の様子を伝えている。	共通理解していく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	研修会の参加している。	保護者様の対して、ご意見や子育てに耳を傾けて、助言を行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に詳しく伝えている。	変更等ある場合は速やかに、報告・説明を行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	学校や相談事業所と連携を回り、担当者会議を開いている。	職員全員に報告して、改善を繋げていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	保護者会を開催していた。	コロナ感染者の状況を見ながら、開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	迅速な対応を行っている。	職員全員に伝えて、今後の改善に繋げていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3	毎月、活動予定表の配布している。	ホームページにて、発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	7		鍵つきのロッカーに保管に保存している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	送迎時や電話等で対応している	連絡帳の活用や、電話、メール等で対応したい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		コロナ感染症対策の為、開催できない場合がある。今後、検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを作成している。	職員や保護者への周知を徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に避難訓練を行い、意識づけをしている	今後も避難訓練を行い、災害時に備えていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		研修参加を行っている。	事業所内での研修を充実していきたい。県が主催する研修会にも積極的に参加していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3	身体拘束を必要とする対象者がいない。同意を得た上で、計画書に記載していく。	ガイドラインの提示、再確認する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6	保護者様からの報告をうけて、対応している	医師の指示書に基づいた対応をしたい。環境設定など、個別での支援を行いたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	作成している。報告書を作成し、事業所内で共有している。	報告書を再確認し、未然に防げる対応をしていきたい。